

平成 22 年度事業報告

〔概要〕

3月11日の東日本大地震と大津波は2万6千人以上の犠牲者と、40万人を超える避難者を出すという未曾有の大惨事となりました。お亡くなりになられた方々に衷心より哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々の一日も早い復旧と、未だに行方不明の方々の発見を心よりお祈り申し上げます。また、東京電力の福島原子力発電所からの放射性物質の漏えい事故による大混乱は、まだまだ終息の気配すら見いだせない状況にあります。避難生活を余儀なくされている方々の健康をお祈りするばかりです。

当協会は震災直後から日本補聴器工業会、日本補聴器販売店協会と協議して、被災された補聴器装用者の方々への支援にあたってまいりました。この支援の中核となったのがご自身も被災した私たちの仲間でした。被災地に留まり、難聴の方々の日常生活に支障をきたさないよう努力して頂いたことには、言葉に尽くせない感謝の念でいっぱいです。この支援活動は現在も進行中であり、まだまだご苦労いただかねければなりません。被災者の方々からは概ねご納得いただける結果を得ることができたのではないかと思います。

広報委員会では震災直後、当協会のホームページで被災状況の調査と義援金募集を行い、被災会員の支援に着手いたしました。義援金は現在も進行中ですので皆様のお志をお願い申し上げます。

さて、平成22年度の補聴器業界は国内出荷台数(日本補聴器工業会調べ)が初めて48万台を突破、伸び率も前年対比4.4%増と近年にない高い伸び率を示しました。機種別では、耳かけ型の伸びが引き続き堅調で、耳あな型も高い伸び率を示しましたが、ここ4年ほど前からの耳かけ型上位の傾向は続いています。しかし、この10年間の伸び率を見ると16.5%(2001年比)と決して満足できるものではありません。

国民生活センターが発表した「補聴器に関するクレーム・相談分析」によると前年と比較して大幅に相談件数の増加がみられます。特に店舗販売に対するクレーム・相談件数の増加には、当協会が取り組んでまいりました「専門技術者による対面販売」への取り組みをもっと強力に推進する必要性を痛感させられました。

当協会は、認定補聴器技能者の公的資格化を目指すと共に、補聴器販売店と協議し、薬事法の見直しを機に、補聴器販売店に一定の技能を有する補聴器適合技能者の在籍の明文化と、耳鼻科医師との連携をより強いものとした「補聴器の有資格者販売制度」の成立に向け一歩動き始めました。

本年度から(財)テクノエイド協会の「認定補聴器技能者資格制度」のカリキュラムが大きく変わりました。当協会は新カリキュラムがスムーズに運営されるため、テクノエイド協会の求めにより要員等を派遣いたしました。また、真に認定補聴器技能者に求められていること、当協会が使命としていることが適切に実践されるために「技能復習」などの資質向上活動を実践してまいりました。

年度計画にありました「補聴器トレーナー(仮称)」制度の研究に取り掛かりました。継続事業としてより実効性のある制度を目指して取り組みます。

発足から5年間の経過し、当協会の方向付けと将来に向けての拡充策、そして各委員会活動の充実にも努めてまいりました。結果として44名の会員増となりました。しかし、まだまだ満足できる組織率になっておらず、更なるものが求められます。

以下、平成22年度の活動報告を申し上げます。

〔会員構成〕

会員の別	期首	期末	増減
一般会員	7名	7名	0名
資格認定会員	395名	412名	17名
準会員	103名	125名	22名
賛助会員(法人)	5社	9社	4社
賛助会員(個人)	0社	1名	1名
特別会員	0名	0名	0名
会員合計	510名	554名	44名

〔事業報告〕

○特定非営利活動に係る事業について

平成 22 年度の重点活動目標として次の 4 項目を掲げて活動して参りました。

1. 補聴器技能者の育成事業（定款第 5 条第 1 項①）
 - ①必修指定講習会Ⅱを主催し、講師、判定員を派遣しました。（受講者 2 日間合計 455 名）
 - ②総会時に研修会を 2 講座開催しました。（受講者合計 133 名）
 - ③実技研修会「技能復習Ⅰ」を 2 会場で開催しました。（受講者合計 24 名）

2. 補聴器技能者の普及啓発活動（定款第 5 条第 1 項②）
 - ①各種講習会、催事会場で補聴器普及と協会の広報活動を行いました。
 - ②ホームページを改善し、会員検索ページ、技能者インタビューを追加しました。
 - ③オヤノコト. エキスポ 2010 や地域や団体の依頼で補聴器相談会を開催しました。
 - ④バリアフリー展へ要員を派遣しました。
 - ⑤パワーポイント資料を活用し補聴器の普及・啓発活動をしました。

3. 本法人の関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第 5 条第 1 項③）
 - ①JHIDA, JHIMA と当協会の業界 3 団体で合同三役会議を 4 回開催し意見交換を行いました。
 - ②テクノエイド協会の要請により、新カリキュラムでの講習会に人員を派遣しました。
 - ③「補聴器販売ガイドライン」を継続して研究いたしました。
 - ③両耳装用補聴器の供給に関するガイドライン検討会へ参加しました。
 - ④一部の地方医師会主催の「耳の日健康相談会」から要員派遣と機材提供の依頼を受け、対応しました。

4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条第 1 項④）
 - ①会員名簿を作成し、全会員と関係諸団体に配布しました。
 - ②あらゆる機会を捉え、会員募集のための広報活動を展開してまいりました。その結果、期首から 44 名の増員となりました。

○その他の事業（定款第 5 条第 2 項）

実施しておりません。

〔主な活動内容〕

以下に平成 22 年度の主な活動報告を記します。

- 4 月 バリアフリー展（大阪）に JHIDA と共同出展 三役会議
平成 22 年度第一回合同三役会議参加 第 12 回理事会開催
- 5 月 技能復習 I 福岡 21 日、岩手 28 日開催 総会資料準備
- 6 月 広報委員会開催 監査会実施 第 13 回理事会開催
第 5 回通常総会開催 選択指定講習会実施（総会併設）
- 7 月 オヤノコト・エキスポ 2010 で補聴器相談を実施 第二回合同三役会議開催
認定補聴器技能者育成制度 第 I 期スクーリングに派遣協力
- 8 月
- 9 月 資格制度委員会開催 両耳装用検討委員会開催
- 10 月 韓国補聴器協会と交流 三役会議開催 広報委員会開催 第三回合同三役会議開催
- 11 月 資格制度委員員開催 合同広報委員会開催 広報委員会開催
- 12 月 第 14 回理事会開催 広報委員会開催
- 1 月 資格制度委員会開催 第四回合同三役会議開催
- 2 月 関係団体へ挨拶回り 資格制度委員会開催
- 3 月 資格制度委員会開催

その他、適時に開催されるテクノエイド協会主催の技能者試験部会、専門店認定部会、技能者養成部会に参加しました。

以上、平成 22 年度の事業報告につき会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

平成22年度決算報告書

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
現 金	733,465		
普 通 預 金	3,884,785		
郵 便 貯 金	552,000		
未収会費	36,000		
流動資産合計		5,206,250	
資産合計			5,206,250
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	142,000		
流動負債合計		142,000	
負債合計			142,000
III 正味財産の部			
正味財産			5,064,250
(うち当期正味財産増加額)			(1,734,907)
負債及び正味財産合計			5,206,250

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 一 決 算
I 収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	400,000	190,000	210,000
会費収入	5,700,000	5,825,500	△125,500
	6,100,000	6,015,500	84,500
2 事業収入			
特定非営利活動事業	10,000,000	9,456,500	543,500
	10,000,000	9,456,500	543,500
3 寄付収入			
寄付金収入	0	20,000	△20,000
震災義援金		105,000	
	0	125,000	△125,000
4 雑収入			
受取利息	2,000	1,571	429
	2,000	1,571	429
収入合計	16,102,000	15,598,571	503,429
II 支出の部			
1 事業費			
特定非営利活動事業			
育成事業	5,500,000	5,200,206	299,794
啓発事業	1,300,000	1,310,390	△10,390
研究事業	1,000,000	806,875	193,125
	7,800,000	7,317,471	482,529
2 管理費			
会議費計	3,400,000	3,327,160	72,840
理事会費	1,000,000	1,039,920	△39,920
その他会議費	400,000	532,160	△132,160
資格制度委員会	1,300,000	1,216,360	83,640
広報委員会	500,000	538,720	△38,720
総務委員会	200,000	0	200,000
総会費	1,500,000	823,990	676,010
旅費交通費	400,000	374,600	25,400
通信費	350,000	292,471	57,529
消耗品	250,000	187,907	62,093
支払手数料	20,000	9,975	10,025
賃貸料(家賃)	600,000	600,000	0
租税公課	5,000	1,475	3,525
顧問料(税理士他)	300,000	9,450	290,550
寄付金	0	0	0
事務委託費	900,000	900,000	0
雑費	20,000	1,315	18,685
渉外費	50,000	17,850	32,150
予備費	0	0	0
	7,795,000	6,546,193	1,248,807
3 その他資金支出			
雑損失	0	0	0
	0	0	0
支出合計	15,595,000	13,863,664	1,731,336
当期収支差額	507,000		1,734,907
前期繰越収支差額	3,262,637		3,262,637
次期繰越収支差額	3,769,637		4,997,544

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
当期収支差額	1,734,907	1,734,907	
負債の減少額			
増加額合計			1,734,907
(減少の部)			
資産減少額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			1,734,907
前期繰越正味財産額			3,329,343
期末正味財産合計額			5,064,250

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現 金	733,465		
普 通 預 金	3,884,785		
郵 便 貯 金	552,000		
技能者協会	472,000		
JHITA研修会	80,000		
未 収 会 費	36,000		
流 動 資 産 合 計		5,206,250	
資 産 合 計			5,206,250
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	142,000		
流 動 負 債 合 計		142,000	
負 債 合 計			142,000
正味財産			5,064,250

注記 普 通 預 金 みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161
 郵 便 貯 金
 技能者協会 振替貯金 00130-5-631089
 JHITA研修会 振替貯金 00180-1-299580
 未 収 会 費 36,000円 (3名)
 前 受 金 会費 142,000円 (8名)

平成22年度 その他の事業会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現 金	0		
普通預金	0		
郵便貯金	0		
流動資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			0
(うち当期正味財産額増加額)			(0)
負債及び正味財産合計			0

平成22年度 その他の事業会計収支計算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	0		
収入合計		0	
収入合計			0
II 支出の部	0		
支出合計		0	
支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

平成22年度 その他の事業会計正味財産増減計算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
当期収支差額	0		
		0	
負債の減少額	0		
増加額合計		0	
			0
(減少の部)			
資産減少額	0		
		0	
負債増加額	0		
減少額合計		0	
			0
当期正味財産増加額			0
前期繰越正味財産額			0
期末正味財産合計額			0

平成22年度 その他の事業会計財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現 金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

以上のとおり報告いたします。

平成23年6月17日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

理事長 宮永好章

当協会の会計に関する帳簿及び証拠書類等に基づき
厳正なる監査を行った結果、正確かつ妥当であることを認め、
ここに報告いたします。

平成23年5月17日

監事 田代 實

監事 瀬部 保夫

